

自治体インフラメンテ研究会と インフラメンテナンス国民会議支援活動の報告について

(特非) 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
Slim Japan 副理事長 **鈴木 泉**



自治体インフラメンテ研究会は、CNCP 発足当時から重要な調査・研究対象であったが、平成 28 年 10 月末に「インフラメンテナンス国民会議」が発足し、その設立準備過程に深く関わってきた。現在、推進体制での公認フォーラムとして「市民参画フォーラム」のリーダーを皆川部門担当が、「技術者育成フォーラム」のリーダーを（SLIM JAPAN 副理事長）鈴木が、任じられ、本研究会構成員の多くが事務局メンバーとして参画している。特に、国民会議の 5 つの目的の中で 4.インフラメンテナンスの理念の普及 5.インフラメンテナンスへの市民参画の推進として一層の活動が期待されている「市民参画フォーラム」支援活動について、現時点での活動を報告する。

平成 29 年 1 月より本研究会として 3 つのワーキンググループを立ち上げ、具体的な支援活動の検討に入った。活発なワークショップにより活動計画を策定し、図-1. に示すロジックモデルを作成し、3 つのワーキンググループの活動から得られるアウトプットと、それによる社会的インパクトであるアウトカムを明確にした。

市民参画フォーラム支援活動の内容：「日常的に市民と行政が協働でインフラメンテナンスに関わっている」を目標として、今後の活動において 3 つの目指す姿を整理した。

- 市民がインフラの簡単な点検や清掃活動に参加しながら、インフラメンテナンスの大切さと価値を理解している。
- 市民と行政が協働で公共施設およびインフラの統合、廃止等についても計画段階から参画して、相互理解し合意している。
- 市民と行政がインフラに新しい価値創造に取り組んでいる。

この活動計画をインフラメンテナンス国民会議実行委員会に提案し、平成 30 年度より以下に示す 3 つの WG の基で活動を進めて行くことになる。

1. 市民理解推進 WG:インフラメンテナンスに関する冊子や活用マニュアルを作成し、小中学校や工専、大学等に配布し理解啓発を行う。
2. 協働コーディネーターWG：インフラメンテナンスにわる協働を全国へ展開する実施計画の作成、ファシリテーター・コーディネーターの養成を行い、協働におけるプラットフォームを構築する。
3. 市民協働調査・分析 WG：自治体における市民参画の実践事例を調査し、市民参加の課題を分析する。

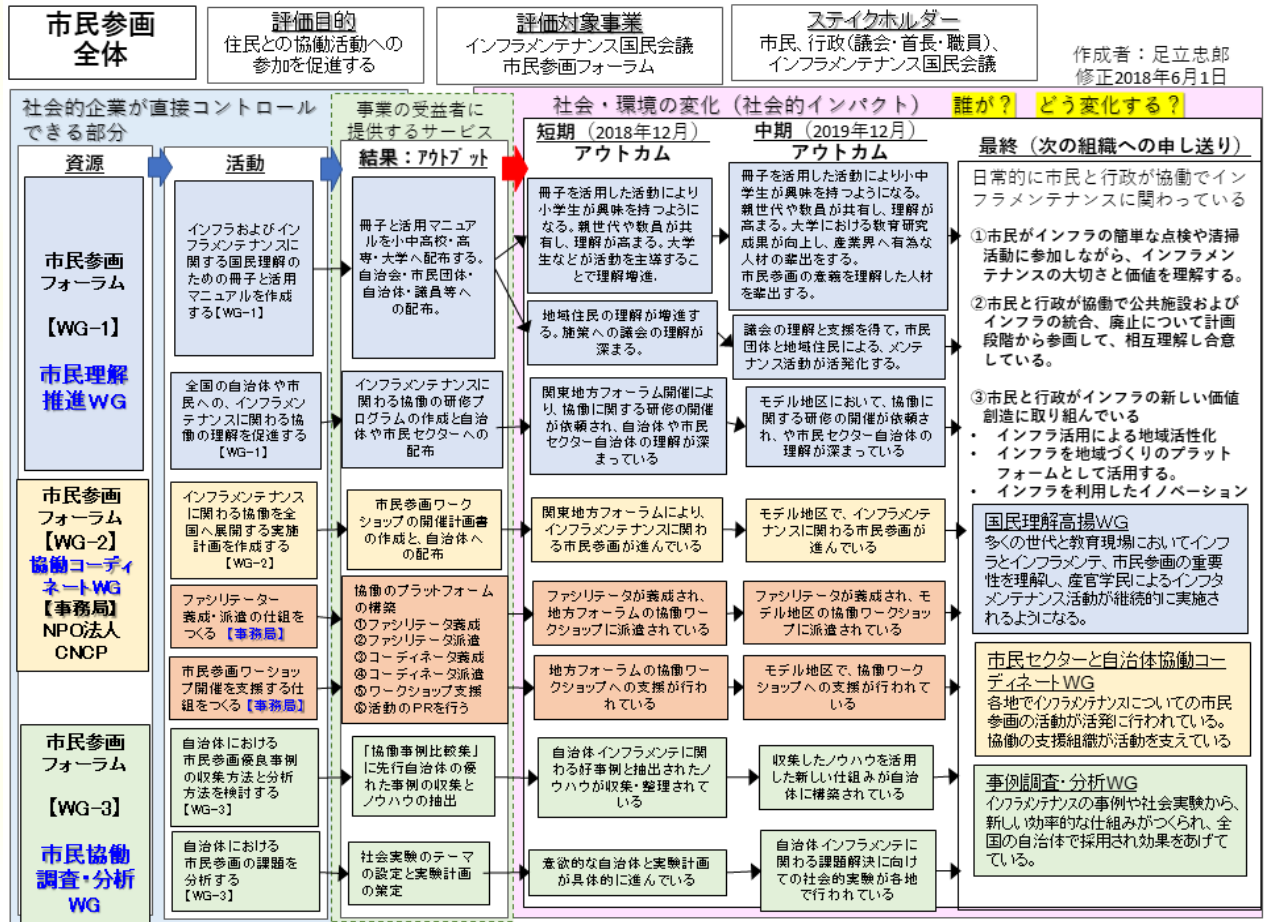


図-1. ロジックモデル

既に関わっている人、これから関わる人が新しい形で、インフラやインフラメンテナンスに関する国民の理解を高め、自治体と国民の双方がこの課題に対する市民参画の重要性と必要性を認識して、実践的な官民協働を各地において推進することは CNCP だからこそ出来る活動である。具体的には、この3つのWGがしっかり連携し、インフラメンテナンスの理念の普及を促進し、係わる新しい役目としてのファシリテーター・協働コーディネーター等の人材を育て、さらに、既に地域で率先している協働事例に参画し、課題解決及び更なるインフラに新しい価値創造を目指すことである。そのためのも、CNCP 会員の皆様には、既に身近で関わっているまちづくり等の市民協働・ワークショップの事例をご紹介頂くこと、そしてこの市民参画フォーラム支援活動に関心のある方々、世代を問わず積極的な参画を希望しております。